

令和 7 年度
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会
第 3 回理事会

日時	令和 7 年 9 月 19 日 (金) 14 時 00 分～17 時 00 分
場所	(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所及び WEB 開催

令和7年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第3回理事会

日 時 : 令和7年9月19日（金） 14時00分～17時00分

場 所 : （一社）静岡県臨床衛生検査技師会事務所及びWEB開催

出席者 : 現在役員数20名（理事18名・監事2名）

羽切政仁 高橋詩帆 原宣紀

岩崎佐知子 村越大輝

石井浩崇 鈴木千恵子 須田達也 亀山拓哉 風間文美代

前澤圭亮 直田健太郎 山口聡子 坂根潤一

松浦裕 山下計太（監事）

畑本大介（書記）

（ 17名／全20名中 うち理事 15名／18名 監事2名／2名）※敬称略

欠席 : 市川佐知子 久留島幸路 齋藤晴義

議長及び議事録署名選出

議長 羽切政仁

議事録記名人 高橋詩帆 原宣紀 市川佐知子 松浦裕 山下計太

【報告事項及び議題】＊敬称略

1. 前回議事録確認（坂根）

令和7年度 第2回理事会議事録が承認された。

2. 日臨技・中臨技関連（直田・羽切）

1) 日臨技オリジナルマスコットキャラクターが公募される。

2) 2028年に静臨技西部支部が担当する第66回日臨技中部圏支部医学検査学会の会場をブラサヴェルデ(沼津市)とした。

日程の選定を令和7年11月の理事会まで持ち越してしまうと、会場を予約する際に他団体と競合してしまう。よって早急な日程選定を、西部支部長を中心として行うこととなった。

3) 第84回日本公衆衛生学会総会

令和7年10月29日～31日に開催される。

静臨技会員にとっても有意義な学会であると考えられるため、静臨HPに案内を掲載することとした。

3. 東中西部支部関連

1) 中部支部報告・審議事項(村越)

①報告事項

a. 令和7年度「検査と健康展」

集合時間は10時となっているが、可能であれば少し早く集合して欲しい。

例年通り、会場設営はディスタンスが担当する。

事務所のPCを会場に持ち込み、現地にあるモニターと接続して「みんな知ってる？臨床検査技師のしごと」を上映する。

b. 令和7年度「静岡県臨床検査精度管理調査」

報告書を作成中、印刷会社へ見積後、依頼する。11月初旬には各施設へ配布予定である。

プログラムは例年通りである。

各会場で録音し、ディスタンスにデータ編集を依頼、後日配信する。各会場に配置されている理事が、録音を手伝う可能性がある。

事前に参加人数が分かるため、現地参加者には報告書を配布する。

報告会終了後、理事を対象としたお疲れ様会を開催予定である。

輸血検査部門討論者が、朝比奈先生から飛田先生へ変更となった。

病理検査部門の藤広先生は当日現地へ来られないため、録音スライドを流すこととなった。

一部部門長から学術部長へノート PC の貸し出し、あるいは追加購入の依頼があったが、詳細が不明なため、両方で再度協議するとともに、学術部で各部門のノート PC 必要台数を確認することとなった。

現地開催であるため、討論者、報告者へは交通費、謝金の支払いを行い受領のサインをもらう。当日現地に来られない先生には口座振り込みを行う。源泉徴収の関係で、住所の確認も必要である。

②審議事項

- a. 静岡市立静岡病院から DMAT カーのクラウドファンディングの宣伝可否について
→営利目的ではないため、令和 7 年 9 月 27 日に実施される「検査と健康展」の会場で、静岡市立静岡病院在職の実務委員 2 人が休憩時間にチラシを配ることとなった。

2) 東部支部報告・審議事項(岩崎)

①報告事項

- a. 令和 7 年度 伊豆市社会福祉大会

高橋副会長、須田理事、鈴木理事、岩崎東部支部長が参加する。

日臨技生涯点数基礎 20 点が付与される。

次年度は他のイベントへの参加を検討している。

- b. メディメッセージ 2025

「はたらく細胞」の画像は、加工しなければ使用してよい。

今回、トークライブへの参加要請は無い。

会場図、機器リスト、業務割り振り表、宿泊先が提示された。1 日目、顕微鏡検査(細胞診)の担当者が空欄であるが、埋まる予定である。

宿泊をキャンセルする場合、1 ヶ月前までに岩崎東部支部長へ報告する。

日臨技生涯点数基礎 20 点が付与される。

②審議事項

- a. メディカルミーティング参加者は、羽切会長、高橋副会長、岩崎東部支部長、坂根事務局長の 4 名となった。会費 3500 円の拠出を齋藤会計部長へ依頼する。

- b. 実験コーナーの内容について以下の説明、提案があったが、担当の村越中部支部長、山下監事で話し合ってから、岩崎東部支部長へ報告することとなった。

- ・マイクロピペット 5 本、マイクロピペット用チップ、リトマス試験紙、尿試験紙は協和医科に準備依頼済みである。

- ・ジュースなど、子どもの口に入っても問題ないものを使用したい。

- ・調合した液体を作成する場合、会場の関係で廃液処理は難しい。
- ・ビーカーからビーカーにマイクロピペットで液体を移す場合、プラスチック製のビーカーを4つ準備できるか、協和医科に確認する。
- ・マイクロピペットではなく、使い捨てスポイトを使用してジュースをリトマス紙にかけて、実験後は持って帰ってもらう。
- ・いずれの実験でも、テーブルと椅子を用意して、座って行う。
- ・桶の中のスーパーボールをピンセットですくい移す、上手く運べたらプレゼントする。

c. 顕微鏡の台数

3台分の顕微鏡スペースを実体顕微鏡(昆虫・紙幣)1台、顕微鏡検査(血液像)1台、顕微鏡検査(細胞診)1台として割り振ることとなった。

3) 西部支部報告・審議事項

2028年に静臨技西部支部が担当する第66回日臨技中部圏支部医学検査学会に関しては、2.日臨技・中臨技関連を参照のこと。

4. 各部報告・審議

1) 学術部(原)

①報告事項

a. 研修会申請・生涯研修登録

・開催申請

20251011	第2回 臨床血液部門ハイブリット型研修会	: グランシップ+Web
20251018	第3回 臨床生理部門研修会	: Web
20251025	第2回 病理細胞部門研修会	: Web
20251109	第2回 臨床一般部門研修会	: 静岡医療科学専門大学校
20251122	第1回 臨床微生物部門ハイブリット型研修会	: 静岡産業経済会館+Web
20251129	第1回 染色体遺伝子部門研修会	: Web
20260117	第3回 輸血細胞治療部門研修会	: 静岡労政会館

・終了報告

20250712	第1回 生物化学分析部門研修会	: 参加者 23名
20250802	第2回 輸血細胞治療部門研修会	: 参加者 47名
20250906	第2回 臨床生理部門研修会(ハンズオン)	: 参加者 16名

b. タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

開催日 : 2025 年 9 月 28 日 (日)
会場 : 静岡産業経済会館
参加者 : 60 名
参加理事: 村越中部支部長に実技講習補助も依頼

c. 第 2 回静岡県臨床検査精度管理委員会(Web) 2025 年 9 月 3 日 (水)

d. 令和 7 年度衛生検査所立ち入り検査

8 月 25 日 (月) (有) アルファ技研、メディック富士: 岩崎常務理事
8 月 26 日 (水) 一般社団法人焼津市医師会臨床検査センター: 市川副会長
9 月 11 日 (木) 東部メディカルセンター株式会社 : 原副会長

e. 令和 7 年度 第 63 回中部圏支部医学検査学会 2025 年 11 月 1 日 (土) ~2 日 (日)

会場: 三重県総合文化センター

・支部シンポジウム

「災害に備える」~「被災しました支援してください」と言われたときに~
シンポジスト: 磐田市立総合病院 久留島西部支部長

・臨床検査総合部門シンポジウム

「動き出した新カリキュラムの臨地自習をより充実するためには」
シンポジスト: 坂の上ファミリクリニック 大橋悟 氏

・ミニシンポジウム

「私たちの検査と健康展」現状の課題と未来の展望

シンポジスト: JA 静岡厚生連 清水厚生病院 原副会長

・ミニシンポジウム

地域ニューリーダーが未来を考える

シンポジスト: 浜松医科大学付属病院 竹林史織 氏

・パネルディスカッション

考えようこれからの臨床検査技師 ~どう生きるか~

パネラー: 静岡県立総合病院 村越中部支部長

・一般演題座長依頼

管理・運営、その他 : 羽切会長

微生物 : 石井理事

血液 : 杉澤きよ美 氏

輸血 : 北尾時輝 氏

臨床化学 : 村越中部支部長

生理(腹部、体表エコー): 堤坂祥子 氏

生理(脳波、呼吸) : 岩崎東部支部長

f. 学会管理システム「Menergia」について

令和7年6月から運用しており、会員からの質問はない。

部門員からは、他県の技師が静臨技の勉強会に参加したい場合、JAMTシステムの「研修会・学会検索事前申込」には表示されるものの、「会員専用ページ」には表示されないため、参加者数が伸び悩んでいるのでは、との指摘があった。

→電子決済システムの運用で先行している他の都道府県においても、勉強会参加者数の低下とシステム導入の因果関係は明らかになっていない。

そもそも静臨技勉強会は静臨技会員を主なターゲットとして開催するものであり、勉強会の内容改善に努めるべき、との意見が出た。

→上記指摘への対応策として、JAMTシステム内の研修会案内コメント欄へ、開催案内PDFやイベントURLから参加申し込みしてもらう旨の記載を付記するなどして集客に努めていく。

②審議事項

a. 諸団体からのHP掲載依頼への対応方法

- ・静臨技登録団体申請が受理されている団体は、HPと会報に掲載する。
- ・静臨技登録団体申請書を提出していないものの法人格を持つ団体は、理事会審議を経てHPに掲載する。メール審議の場合、全会一致とする。
- ・今後、上記内容を学術部門運営規定施行細則に盛り込んでいく。

b. 今後のタスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

- ・9月19日時点での基礎研修履修済みである会員の東、中、西部での分布を鑑み、令和8年2月の講習会開催地区を決定していく。静岡県内での開催は最後となることを、学術部からアナウンスしていく。
- ・令和8年度以降、中部支部単位での開催となるが、開催場所は愛知県となる可能性が高い。実務委員を各県で輪番制にするなどの対応が必要となる。

2) 組織部(須田)

①報告事項

a. 各種表彰

- ・第54回医療功労賞候補者の推薦 →該当者なし
- ・令和8年春の外国人叙勲候補者の推薦 →該当者なし
- ・公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦 →該当者なし
- ・令和7年度社会貢献者表彰候補者の推薦 →HP掲載、掲載終了、該当者なし

- ・令和7年結核研究奨励賞 →HP 掲載中

HP 掲載の場合、HP の「お知らせ」を使用する。依頼元、調査内容、調査期日(〆切)、提出先を明記し、掲載資料を添えて掲載依頼することを広報部と協議済み。提出先は静臨技事務所を基本とし、組織部で確認後、依頼元へ提出する。

b. 会員の異動

令和7年7～8月分の異動 →メールにて理事による確認済み、意見・問合せはなかった。

c. 施設連絡責任者宛てのメール送信

施設数に対して施設連絡責任者数が少ないことが分かった。会員1名の施設は、その会員を施設連絡責任者に設定する。会員が2名以上の4施設には、設定依頼メールを施設責任者へ送付した。

d. 求人情報

前回理事会後から9月15日までに掲載依頼5件、削除依頼0件であった。

e. 連盟

日本臨床検査技師連盟主催勉強会が8月18日(月)、9月16日(火)に実施された。

f. 県との災害協定

- ・7/18以降、県、卸連合、技師会の3者間での協定締結を県に打診した。
- ・8月末、県の担当者から2者での協定締結の手前まで進めたため、3者間への変更は厳しいかもしれないと言われた。
- ・9月初旬、県担当の鈴木氏が3者間への変更について調整中である。

②審議事項

a. 静臨技推薦の表彰

表彰は表彰規定や各賞の推薦条件に準じて推薦することを確認した。

b. 災害マニュアル、規定の作成

県との災害協定締結前に大枠で災害マニュアルと規定を作成して、締結後に微調整することとなった。

3) 渉外広報部(高橋)

①報告事項

a. 静臨技ニュース

- ・ 8、9 月号 →一斉送信及び HP 掲載済
- ・ 静臨技ニュース内容

8 月号

熱中症について学ぼう	P1-2
会員投稿	P3
静臨技学術部より重要なお知らせ	P4
臨床検査関連研修会	P5-9
行事予定	P10

9 月号

世界アルツハイマー月間について	P1
会員投稿	P2
静臨技学術部より重要なお知らせ	P3
臨床検査関連研修会	P4-14
行事予定	P15

- ・ 静臨技ニュース 10 月号を作成中

b. 表彰関係のお知らせを HP に掲載

組織部から広報部へ依頼する際のフォーマットがあると良い、業務として引き継ぎやすい、との意見がでた。本件に関しては継続審議することとなった。

c. HP リニューアル

意見があれば高橋組織部長へ伝える。

データ移行範囲は、11 月理事会までに広報部で意見をまとめる。その後、理事会で意見を聞くこととなった。

4) 会計部(代理 坂根)

① 報告事項

a. 日臨技から下記の送金がされたことを報告された。

- ・ 令和 7 年 6 月締め分会費・入会金 43,500 円
- ・ 令和 7 年度「日臨技生涯教育推進研修会」送金 150,000 円
- ・ 令和 7 年度 定時総会議決権行使における回収手数料の送金 96,460 円
- ・ 令和 7 年度 全国「検査と健康展」開催助成金 500,000 円
- ・ 令和 7 年 7 月締め分会費・入会金 44,000 円
- ・ 令和 7 年度「日臨技生涯教育推進研修会」送金 40,500 円

5) 事務局 (坂根)

- ・「国民医療を守るための総決起大会」
令和 7 年 11 月 20 日 (木) 14:00～15:00
原副会長が参加する。
中部理事にも参加を打診する。

6) その他 (羽切)

- a. スタートアップ研修会の日程が未確定であるため、組織部へ進捗報告が依頼された。
- b. 次年度の役員改選に向けて、支部会の開催時期を考慮するよう各支部長へ依頼された。
- c. 日本赤十字社の台風 15 号災害静岡県義援金に関する情報を静臨技 HP、静臨技ニュースに掲載することとなった。
- d. 第 13 回静岡県医学検査学会
 - ・現地開催とする。
 - ・あざれあ大ホールは 6 ヶ月前から予約可能、受付用に小ホールも借りる。
 - ・コロナ禍前に実施していたランチョンセミナー、パネルディスカッション、会長講演などの企画を検討するよう岩崎東部支部長へ依頼された。一般演題が 13 題程度集まった場合、時間の余裕はない、との意見がでた。
 - ・懇親会は小ホールにケータリングを頼んで実施する方向で検討することとなった。
- e. 令和 8 年度 定時総会
 - ・Web のみで開催し、あざれあ小ホールを使用することとした。

書記 畑本 大介

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 羽切政仁

氏名 _____ 印

議事録記名人

高橋詩帆 原宣紀 市川佐知子 松浦裕 山下計太

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印